

第一陶技学園だより

題字：佐曾利 博 様

絵画：澤田 瑠美 様

暑中お見舞い申し上げます

主任心得生活支援員 三品 修身

今年も大変暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は現在、自閉スペクトラム症の支援に関する研修に関わらせていただいております。その研修の中で強度行動障害とは激しい自傷行為、パニック、他害行為などの状態が表出している方達を指しています。支援者養成研修では、行動の特性を理解したうえで、支援内容を確認してグループで共通の支援をしていくことを目指しています。会話の理解が難しい方にはカードや写真で提示することにより理解していただけることもあります。支援者が行動の特性を理解しないと強引な声掛けになり、ややもすれば虐待にもつながってしまいます。一人ひとりの生活のしにくさを共通支援により少しでも緩和できたらと考えています。

現在、共通の生活のしにくさと言えば、毎日のニュースなどで耳にする「新型コロナウイルス」です。令和元年十二月ごろから流行し始めた新型コロナウイルスは今までの生活を一変させるほどの脅威のウイルスでした。利用者様、ご家族様においても、帰省、面会、外出等の規制をお願いし、混乱やストレスなどで過ごしにくい日々を送ってまいりました。そんな中でも、ささやかではあります。が昼食にお弁当を注文し食べたり、おやつにフライドポテトを注文したりして、コロナ禍でも出来る楽しみを見つけ日々過ごしています。私は、最近今の生活に慣れてきてインドアでの楽しみができました。人は状況により変わるものだと思います。利用者様の施設での生活でもコロナ禍であっても個々が楽しみのある生活を試行錯誤していきたいと思っています。今後の生活においても、新型コロナウイルス感染症対策のため制限はありますが、利用者様のその人らしい生活を考え、一人ひとりの特性を理解し、丁寧な支援、丁寧な言葉遣いを職員一同が意識して頑張っていきたいと思っております。今後も皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

開園記念の日

第28回開園記念の日

～ 護 思いを受けて ～



利用者の皆様も笑顔で楽しんで参加することができました。

夏のお楽しみ会

盆踊りの時代変化として

感染予防を考えた夏の楽しみ



伝統あるとうぎの盆踊りをつなげていきます。

With 利用者様 With 陶技 With Enjoy.

ART 制作

芸術は爆発なのか？

それとも収縮なのか？それとも？



個人で楽しめる活動の一環として

夢中に熱中して集中できる取り組みをしています。

『活動と衝動とエモーショナルな感情』

副主任生活支援員 石田智明

最近の俗語で「エモい」という言葉があります。あまり馴染みのない方も見えるかもしれませんが、「どこか感傷的な、それだけで心動かされる状態」を示す言葉だそうです。

さて、コロナ禍において利用者の皆様の生活は一変したのでしょうか。いつも楽しみにしている行事や帰省の中止、外出計画の変更など、少なからず影響されていることは間違いありません。しかしながら、こと日中活動においては多くの利用者様が毎日の作業や創作活動などコロナ禍以前と変わることなく『活動』する姿を目にすることができず。

特にアート制作においては利用者様それぞれ表現方法で力強いアート作品を生み出し続けています。絵画や書道、陶芸、手芸作品など得意な表現によって活動しています。中にはひたすらダンボールをちぎり続ける方や毎日歌を歌い続ける方など心の奥から湧きあがる、いわば『衝動』を表現方法として活動する方も見えます。

我々、支援員はそれぞれの表現方法によ

って生み出されたものを額に収め、あるいは台に並べ、展示として仕上げることに心血を注いでいます。

では、ダンボールをちぎる、歌うといった表現はど

のようにして扱ったらよいのでしょうか。

それらも立派な表現方法であることは間違いありません。

行事でマイクを持つことをいつも楽しみにしている利用者様とは、夏のお楽しみ会で本人が立つステージ作りを一緒に行いました。自分で着る衣装を作り、看板を書き毎日ステージに立つことを励みに歌の練習をしました。毎日ちぎったダンボールはダルマとして仕上げました。以前より張り子のダルマの制作を続けていました



が、ダンボールで作ったものはそれらのものより一回り以上大きなものに仕上げる事ができました。

このように、利用者様の何気ない表現を一つの作品として仕上げた時、利用者様の希望を達成した時、そしてその時の利用者様の笑顔を目にした時、四十五歳のオジサン支援員となった私にも確かな感情が湧きあがります。

「エモい」と。



作品展示

第一陶技学園から利用者アーティストの皆さんによる展示会を催しました。

- 場所 南姫公民館ギャラリ
- 日時 七月二十日～二十九日

とうぎの「と」展



とうぎの「と」にはとまらない制作意欲を表現しています。素敵なアーティストの「と」まらない制作意欲を「と」とめない様サポートしていきます。

感染予防として

利用者様と職員のワクチン接種を行いました。六月に一回目、七月に二回目の接種を実施させていただきました。

今後の予定

施設行事について新型コロナウイルス感染症対策のため、やむなく中止や内容変更させていただくこととなります。

利用者の皆様やご家族の皆様方には大変申し訳なく心苦しい思いですが、大切な利用者様を不測の事態からお守りする最善の策として考案させていただきました。

- ・九月八日 生活習慣病検診
- ・九月十一日 焼きそばパーティー

- ・十月九日 ↓利用者様のみで開催を予定
第九回陶技学園祭

- ・十一月五日、十二日 ↓施設内で秋のお楽しみ会を予定
親子旅行

- ・十一月 インフルエンザ予防接種
- ・十二月十七日 クリスマス会

行事の変更として、職員と利用者様との限定参加での催しに決定させていただきました。利用者の皆様にとって少しでも楽しむことができるよう、施設内にて感染予防を徹底し規模を縮小しながらも、満足していただけるように、食事や雰囲気作りをどうするのか、また参加型の出店などで密を避け楽しめるにはどうすればよいのかなどと検討しています。写真や家庭通信でご家族の皆様にご利用者の笑顔をお届けします。

職員退職者

- 令和三年七月三十一日付退職
生活支援員
瀬瀬 千喜

ご寄付ありがとうございました

- 令和三年四月一日～令和三年七月三十一日
陶都信用農業協同組合 様

体表面温度計測機能付
顔認証リーダー



南姫公民館 様 玉ねぎ

今井義郎 様 きゅうり
ほうれんそう

編集後記

コロナ感染がすぐそこまで迫ってきている中で、陽性者が一人として出ていないことにご家族皆様方の感染予防対策へのご協力に感謝申し上げます。利用者様本位の施設生活におきましても、安心安全の上で楽しみを考慮していく次第でございます。今後職員一同、更なる感染予防対策に徹底し、より丁寧な健康管理を心がけた支援に邁進してまいります。